ProPak-A.6

305599

□要

□明

ProPak-A.6□PPA.6）は、複製不能なレトロウイルスベクターの生産を目的として作製された、ヒト胎児腎由来のパッケージング細胞株である。 ProPak-A.6 は、アデノウイルス 5 型の E1A 配列□転写活性化用）と、マウス白血病ウイルス □MLV）由来の gag、pol、および env 関連タンパク質を安定的に発現しており、組換えレトロウイルスゲノムを非感染性の MLV ベースのウイルス粒子に効率的にパッケージングすることを可能にします。 GMO-S1 分類は、これらのウイルス性トランスジーンの安定的な組み込みを反映しています。

ProPak-A.6は、標的細胞への遺伝子導入を目的とした高力価の組換え MLVベースのレトロウイルスベクターを生成するためのパッケージング細胞株として適用可能です。これは、遺伝子治療用ベクターの生産、増殖中の細胞集団への安定的なトランスダクション、およびトランスジーンの効率的なレトロウイルスによる送達を必要とする研究に使用されます。 アデノウイルスE1A成分は、プロモーター駆動型の発現を促進し、ウイルス産生効率を向上させます。ユーザーは、BSL-2レベルのレトロウイルスベクター作業に関する適用されるバイオセーフティ規制に従う必要があります。

ティッシュ	胎児の腎臓
病気	正常な胎児の腎臓□レトロウイルスパッケージング細胞株；非腫瘍性）
転移部位	該当なし□非腫瘍形成性の包装細胞株）

用途

レトロウイルスベクターの作製；遺伝子治療用ベクターの製造；分裂細胞への安定的なトランスダクション；MLVを用いたレトロウイルスによる遺伝子導入；アデノウイルスを利用したレトロウイルスのパッケージング；遺伝子導入に関する研究

同義語

- ProPakA.6
- PPA.6
- PP-A.6

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	アドヘレント
GMOの有無	GMO-S1

GMOのステータスに関する詳細

GMO-S1: This human kidney-derived cell line (ProPaka.6) contains plasmid constructs encoding adenovirus-5 sequences together with gag-, pol-, and env-related proteins that form non-infectious murine leukemia virus particles. The inserts are stably integrated. This classification applies only within Germany and may differ elsewhere.

バイオセーフティレベル	2

特徴

形態学	上皮様
細胞の種類	上皮細胞
倍増時間	約24～36時間

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

識別子

引用

ProPak-A.6□Cytion カタログ番号 305599）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_8968

取り扱いと飼育

培地

DMEM ′ w：4.5g/Lグルコース、w：4mM L-グルタミン、w：3.7g/L NaHCO3 ′ w：1.0mMピルビン酸ナトリウム□Cytion品番820300a）

培養雰囲気	37℃ ′ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

培地を取り除き、カルシウムおよびマグネシウムを含まない PBSで洗浄し、Accutaseを添加して室温で8～10分間インキュベートした後、培地に再懸濁し、 300×gで3分間遠心分離し、上清を捨て、新しい培地に再播種する。

分割比率	1～5
播種密度	2-4×10^4/cm²
流体の更新	1～2日ごとに

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 200 x g for 5 minutes, carefully discard the supernatant containing freezing medium.
Follow the procedure described under Post-Thaw Recovery

品質管理と凍結保存

凍結培地	凍結保存培地としては、解凍後の生存率を十分に高めるため、完全増殖培地＋ 10%DMSOを使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	胎児

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes